

## iCraft レースレポート

### スーパー耐久シリーズ 2021 Powered by Hankook 第1戦 「もてぎスーパー耐久 5Hours Race」

3月20～21日 ツインリンクもてぎ（栃木県）

予選：曇り／ドライ 入場者数：4,800人

決勝：雨／ウェット 入場者数：4,200人

TiRacing ☆ NATS ☆ ロードスター（マツダロードスター ND5RC）

金井亮忠／岡原達也／松尾康博／古田岬

#### 予選は3番手で過去ベストグリッドながら、決勝はミッショントラブルで無念の8位に

2020年からスーパー耐久シリーズに挑んでいるiCraft（猪爪俊之：監督）は、新たなシーズンも引き続き、激戦区として知られるST-5クラスに、マツダロードスター「TiRacing ☆ NATS ☆ ロードスター」で参戦する。日本自動車大学校（NATS）の支援を受け、学生たちがマシンを製作し、メカニックを担当するのも従来どおり。

昨年はコロナ禍で大幅なスケジュール変更を強いられ、開幕も遅れたことから、短く慌ただしいシーズンを過ごさなくてはならなかったが、今年は例年どおり3月からのスタートに。シリーズは全6戦での開催が予定され、熱戦の火蓋はツインリンクもてぎで切られることとなった。

昨シーズンは鈴鹿戦の中止により最終戦となったオートポリス戦では2位に入り、ついに表彰台に上がるまでとなったが、これに満足することなく更なる戦闘力向上を目指しオフの間にシャシー剛性を大幅に高めるアップデート等を行った。

その改良を施してくれた現スタッフであるNATSの学生たちはすでに卒業しており、今回がラストレース。第2戦からは新スタッフとともにレースを戦っていくこととなる。また、ドライバーラインアップも一部変更し、Aドライバーに金井亮忠を起用。今回は岡原達也、松尾康博、古田岬を加えての参戦となる。



#### 公式予選

昨年は変則スケジュールの中、11月に第4戦として行われた、もてぎでのスーパー耐久。予選こそ11番手だったものの、決勝レースでは着実に順位を上げ、6位でのフィニッシュを遂げている。JAF-F4等で豊富なレース経験を持つ金井のデータやノウハウが大いに活かされていた。

金曜日の練習走行では、エアジャッキトラブルにて午前の走行は30分程度で切り上げることとなったがクラス4番手のタイムを記録し、全クラス混走の午後の走行含めてメニューを順調に消化していった。

迎えた土曜日午前のウォームアップ走行でクラストップの2分18秒456をマークし、チームの雰囲気盛り上がった状態で予選がはじまった。

Aドライバーの金井は計測2周目には早くも2分18秒台に入れ、ベストタイムを更新したばかりか、次の周には2分17秒478をマーク。さらに1周のクールダウンを経て、2分17秒421までタイムを詰めた結果2番手につけることとなった。

続いて臨んだBドライバーの岡原は、2分18秒932で6番手に。ふたりのタイム合算では3番手となり、「TiRacing ☆ NATS ☆ ロードスター」は過去ベストグリッドで決勝のスタートを切ることとなった。

なお、ユーズドタイヤでの走行となったCドライバーの松尾は2分21秒547、Dドライバーの古田は2分20秒912を、いずれも少ない周回数で記録。決勝への期待材料ともなっていた。



## 金井亮忠

まだ完璧とは言えないですけど、クルマはシーズンオフの間に手直して、だいぶポテンシャルも上がって、走りに対してちゃんとクルマも反応してくれるようになってきました。他のドライバーにも乗りやすく、コントロールしやすいクルマに仕上がってきたので、そういった意味ではすごく良くなってきている感じです。まだまだクルマは荒削りな部分もあるので、細かい部分を徐々に煮詰めていければ、もっと前の2台にも迫れると思うし、追い越せるとも思うので、引き続き頑張りたいです。



## 岡原達也

自己ベストの18秒に入って個人的には満足ですが、金井選手が17秒出しているので、喜び半分もうちょっと頑張らなくてはという気持ち半分な感じです。チームとして過去ベストの3番グリッドなのでミッションは果たせたのかなとは思っています。前のロードスター2台は手強いですね。前を捉えるには自分のタイムをもっと引き上げないといけないので、引き続き頑張ります。



## 決勝レース

決勝レースが行われる日曜日は、天気予報で伝えられていたとおり、雨に見舞われることとなった。ハンコックのウェットタイヤは、ほとんどのチームが使用したことがないため、急きょウォームアップ走行がレース前に行われた。ここでは内圧などの確認を優先したこともあり、順位としては5番手ながら、上々の手応えも得られていた。

レースはセーフティカー（SC）スタートとなり、3周の先導を経てバトルが開始。スタート担当の金井は、3番手をキープしながら周回を重ねていく。だが、10周目を過ぎたあたりからミッション不調が生じペースが鈍り始め、徐々に順位を落としていくことに。



だましまし走り続けて、「TiRacing ☆ NATS ☆ ロードスター」は2時間経過を控えた44周目に、ドライバーチェンジ無しで給油のみの最初のピットストップを行う。その後雨量が増えてきたこともあり、SCが導入された50周目に松尾と代わる。

この時のSC先導は3周で終わりレース再開されたものの、本来の折り返しから約10分経過した、2時間44分より2度目のSCランが実施される。まさか延々で行われるとは予想できなかったことから、62周目に古田と交代したが、結果的にはこれが裏目に……。隊列が整ったタイミングだったため、それまでの4番手から大きく順位を落とすこととなった。

それでもレース再開されれば、挽回のチャンスもあっただろうが、3時間25分、2/3の時間を超えたタイミングで赤旗が出され、レースは中断。回復を待って全車ストレートに留め置かれたものの、4時間経過時にレース終了のアナウンスが。

本領発揮を許さぬまま、終わってしまった開幕戦の順位は8位。予選まで高いパフォーマンスを示していただけに、悔やんでも悔やみきれない結果となったが、次回のレースは4月17～18日と、ひと息つく間もなく開催される。スポーツランドSUGOでの巻き返しを期待したい。



## 金井亮忠

ミッションの入りが非常に悪くて、保たせるためにギヤチェンジをなるべくしないように走らせていました。大雨という要因もありますがそれでペースダウンしてしまいました。途中からは大雨で SC 入ったり、ピットインのタイミング等もあり順位が落ちてしまいました。今日は運に左右される部分が多かったですね。ただ、予選では 72 号車の存在をアピールできたと思うので、そういう意味では良かったと思います。次回、見てください。

## 岡原達也

決勝はレース赤旗終了で乗れなかったのですが、とにかくクルマをきれいなままで戻るのが重要なのでみんな頑張ってくれました。古田選手が SC 中の走行だけで終わってしまったのは、ちょっと残念でした。SUGO まで時間があまりありませんが、現在見えている問題点のつづし込みをやる時間はあると思うので、その対応をしっかりやって SUGO に向かいたいと思います。

## 松尾康博

今週末が初めてもてぎでのレースになったので、緊張はしていました。昨日まで徐々にベストを更新していけて良かったです。ただ雨の茂木は全く初めてなので非常に苦労しましたが、クルマを壊さずそれなりのタイムで走れたみたいなので良かったです。責任は果たせたと思っています。

## 古田岬

ずっと SC で攻めきれなかったのですが、今回 S 耐は初参加で、S 耐の雰囲気は味わえて良かったと思います。

## 猪爪俊之監督

次の SUGO は晴れる。

今年はクルマもドライバーも進化しているから、今日はいろんなことに翻弄されてしまったけど、これからもっと面白くなりますよ。でも、ミッショントラブルで大幅に予定狂ってしまい、パニック状態で焦ってしまいました。これもレース。次、頑張ります！

